

日刊酪農乳業速報

DAILY DAIRY NEWS 2016年 7月15日(金曜日)第11133号
 (昭和45年6月22日 第三種郵便物認可) 日刊(但し土、日曜、祝祭日は休刊)

2016年 7月 15日(金曜日) 第11133号

☆ 東日本の生乳生産、第1四半期は1・2%減……(1)

☆ 梅雨明け後の猛暑予報を懸念・東北
 離農、頭数減でQ1は1%減産・関東
 生乳生産に勢いなく今後が心配・北陸
 乳牛高騰、高温多湿で減産進む・東海
 E.Uの乳価続落で域内酪農家の離農止まらず……(3)

☆ 乳業15社の平均乳価は17%安・LTO
 中国の需要減、ロシアの禁輸が影響
 英国の酪農家、3年で1043戸離脱
 別海町の酪農家4戸が搾乳ロボット導入へ……(4)

☆ クラスタ活用、最大は1戸で8台
 4戸の総事業費約21億円、乳量58%増
 農協も後押し、搾乳ロボット地帯目指す
 ☆ 全国酪青女酪農発表大会が名古屋で開幕……(5)

☆☆ 食品品質保証テーマに研修会・コープネット……(6)

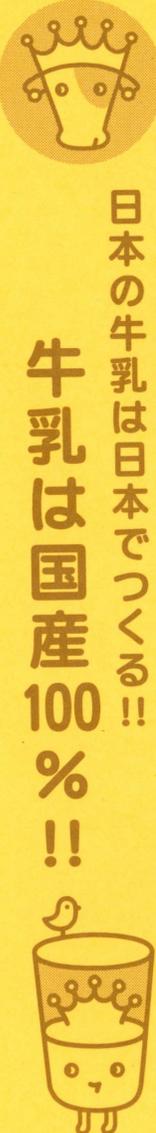
☆☆ 小売・外食にオーガニックの流れ・EXPO……(7)

☆☆ アニマルウェルフェアの展示も企画
 「軽やかしぼり」で五輪軽やかに・福島選手……(8)

☆☆ ホクレンとドラえもんが六本木で酪農をPR……(8)

☆☆ 輸入脱脂粉乳の売渡、大手乳業落札で高値に……(9)

☆☆ CA枠の輸入バター1673トを21日に売渡……(9)

日本の牛乳は日本でつくる!!
牛乳は国産100%!!

 www.dairy.co.jp
 一般社団法人 中央酪農会議
 指定生乳生産者団体

発行所 **株式会社酪農乳業速報** ©
 TEL 03-3864-3691(代表)
 FAX 03-3864-3695

本社 〒101-0024 東京都千代田区神田和泉町1番地13-12(ファベルハウス)
 TEL 03-3864-3691(代表) FAX 03-3864-3695

北海道支社 〒060-0003 札幌市中央区北3条西7丁目1番地 (酪農センター)
 TEL 011-222-7012(代表) FAX 011-222-7065

購読料(前金) 6カ月 47,304円 振替番号 00100-4-151599

禁無断転載

◎ 小売・外食にオーガニックの流れ・EXPO
オーガニックによる豊かなライフスタイルの普及啓蒙を
コンセプトにした展示会「オーガニックライフスタイルE
XPO」(主催・オーガニックフーズジャパンO F
J)が11月18、19日に東京国際フォーラムで開催される。
国内では、有機食品JAS認定制度が始まって16年、有機
農業の推進に関する法律が制定されて10年が経過するが、
有機農産物・食品市場の広がりには限定的。そうした中、環
境・健康意識の高まりや20年東京オリンピック・パラリン
ピックの食品調達基準にオーガニック(有機)が採用され
るとも言われ、小売りや外食でもオーガニックに対する関
心が高まっている。
ライフコーポレーションは6月25日に、オーガニック・
ローカル・ヘルシー・サステイナビリティをキーワードに
した新業態店「ビオラル靱店」(大阪市)を出店、イオン
は仏社と合弁で「ビオセボン・ジャポン」を設立、オーガ
ニック商品の店舗を展開していく予定。
こうした機を捉えて、オーガニックライフスタイルEX
POを開催、日本でもオーガニックの普及、市場の拡大を
図っていく。EXPOの出店規模は屋内約140小間、屋
外(生産者マルシェ)約50小間を予定、約3万人の来場
を見込んでいる。流通業界からも、ナチュラルローソン、
らでいっしゅぼーや、大地を守る会などが協賛、一部は出
展も予定している。
テーマ企画では、在来種・固定種の大切さを広く知らし
める「種の交換会」や、アニマルウェルフェアの取り組み
を紹介するコーナーも設けられる。
オーガニックレストラン認証の日本第一号となったピッ
ツェリア・トラットリア・ナプレ(東京・南青山)で開か
れた記者懇談会では、OFJの徳江倫明会長(フードトラ
ストプロジェクト代表)が「東京五輪の食材調達基準が今
年中に示されるが、日本らしいオーガニックを取り入れた
基準を作っていきたい。ライフやイオンがオーガニックス
ーパーを展開するが、マーケットの広がり期待する」と
挨拶。アニマルウェルフェアについては「日本では飼料の
問題もあり、有機畜産の広がりには小さいが、取り組みやす
いのではないか」と話していた。